



# 東京会工会だより

No.8

平成18年4月20日発行 東京会工会事務局 川崎市中原区上平間2079-1(ニッポ-産業(株)内) TEL044-544-0811

## 『見える化』を目指して



東京会工会会長

荒井 士郎  
(34年K卒)

東京会工会とは、御存知の通り一九一一年九月東京神田「ときわ」で卒業生十二名が集まり同窓会「福工会」として発足しました。一九四一年「東京会工会」と改称、関東地区を中心に同窓生の心のよりどころとし故郷を語り母校の発展を願い懇親の場として幾多の苦難を乗り越えて継続、現在に至っております。

時代の流れと生活の多様化により同窓会に対する心の置き場も変わっております。この様な環境の中、永続させる事は非常に困難な事ではありますが、私共執行部役員は、一人でも多くの方々に会の趣旨を理解して頂きたく「会工会だより」を中心に会の「見える化」の促進を図っております。おかげさまで、年々参加者も増し、本年は同伴者を含め、延二八〇名程となりました。

東京会工会とは「何ぞや」と言った禅問答の様な話は抜きにし、会則の基本である卒業生相互の親睦を図ることを第一に活動しております。改めてその内容をご紹介します。一年の締めくくりに「総会・懇親会」親睦を深める為の出会いとして「地引綱」「ナシ狩」「イモ煮会」「ゴルフコンペ」「足跡を残す植樹」将来の入会に賭けて卒業生に贈る『記念タオル』これ等の活動を通して、会の維持発展に執行部役員一同頑張っております。

一般的に同窓会に参加する者は、功成り名を遂げた者が多いのではないかと思います。純粋に同じ学び舎で過ごした事を懐かしみそれぞれの話の輪が広がります。一時を過ごしておられる様に見えます。不参加の方々も内心では自分の青春時代の一時を過ごした母校を懐かしく思っておられる事と推察しております。しかし、なぜか参加されない、何かやっていると推察は関係ない、メンバーを見ても知人がいないといった理由が大半の様に見えます。東京会工会では、会員全員が主役で、演出家であり執行部役員はそのお手伝い

です。是非、いずれかの催事に参加され、生活のリズムに青春の活を入れ有益な一時を過ごしてみませんか。昨年の総会の場で、会費納入状況にふれましたが、その後かなりのご協力を頂きありがとうございます。会費は、会運営の血液です。宜しくお願致します。

会費振込についてこの様な事がございました。五〇年T卒の故五十嵐清英氏の奥様から夫は亡くなったが、最後の会費二〇〇〇円と、仏前に供えたいので記念タオル代「五〇〇〇円」の振込みがございました。タオルと少しの供物を添えて送らせて頂きました。奥様の心情には、心ならずも目頭が熱くなるを禁じ得ませんでした。又、桜基金に関しては四七年K卒の武藤政明氏から「亡くなったお袋(二月に逝去)は、花が大好きだったので後世に残せる母校の桜に名を入れて欲しい」と五万円が寄付がありました。この様に、何らかの形で会工会がお役に立つことは、会として誇らしいことであり最高の喜びに思えます。

これからも会の活動内容をより「見える化」し多くの会員諸兄の参加、協力を得、一〇〇周年に向け発展させたいと思っております。宜しくお願致します。



### ≪平成十七年度 東京会工会総会≫

恒例の平成十七年度東京会工会総会は、六月二十五日(土)上野精養軒にて開催され、九十余名の会員の方々が出席されました。

まず会長より、桜植樹の報告、桜基金・年会費納入に関するお礼と更なるご協力をお願いがありました。続いて会務報告・会計報告があり、満場一致の承認で総会が終了し、引き続き懇親会に移りました。今回は、コロムビアレコード新人歌手森野りえさんの演歌を聴きながら昔話に花を咲かせ、和気藹々の中、散会となりました。

今回は、更により多くの会員の皆さんの参加を心よりお待ちしております。

記念植樹のご報告

桜基金に多数のご協力を頂きありがとうございます。今年には河津桜を二十本植えました。河津桜は、会津の地でも四月上旬には開花するものと思えます。来年は八重桜を予定しております。

やがて四月上旬〜5月下旬まで、校庭は、

桜花で埋まり若松の名所となるやもしれません。桜は散り際が良すぎるという事で、かつて武土にはきらわれた面もあるようです。最近では、「桜を主題とした歌も多数でおり桜は日本人の心に合致するような気がします。

基金にご協力を頂き桜と共に名を後生に残そうではありませんか。

(二〇一〇年迄に五千円以上の御厚志を頂ければ銘板に名を刻します)

桜基金・協力者一覽

(平成18年2月10日現在)

Table listing donors and amounts for the Sakura Fund. Columns include name, amount, and name. Total amount is 285,000 Yen.

東京会工会の活動

一、平成十七年度会務報告

- List of activities for the 17th fiscal year, including general meetings, committee reports, and various events.

二、平成十八年度活動計画(案)

- Proposed activities for the 18th fiscal year, including general meetings, committee reports, and various events.

ここに謹んでご冥福をお祈り致します。 (Notice of bereavement for a member)

母校便り

教頭 白井 眞一

創立百周年に入学した生徒たち三百十六名は、去る三月一日に栄えある卒業式を終え、現在それぞれの進路に向かって飛び出そうとしております。前日の表彰式では同窓会の皆様のご尽力により「松江賞」が贈られました。本当にありがとうございます。松江春次氏については新聞・テレビの報道で多々取り上げられておりまして、この時期に松江賞が復活したことは、生徒達に入会津人の誇りと使命感」をもたらせた意味で意義深いものであると確信しております。さらに同窓会入会式では、東京会工会の五十嵐幹事長からの熱いエールとともに卒業生全員に記念品のタオルをいただくなど、常に物心両面にわたるご支援を頂き熱くお礼申し上げます。

本年も卒業生の進路はほぼ100%達成し、進学と就職は折半し、特に大学進学率は三割弱と増えてきており、多様な進路実現に生徒達は頑張りました。また運動部においては全国大会にボクシング、陸上競技、水泳、新体操競技が参加し、ボクシングではライトウェルター級で準優勝しておりますし、野球部は秋期県大会でベスト四になりました。その他の部も上位大会に向け日々練習に余念がありませんでした。そして文化部の機会研修部では「全国電動カー卜創作コンテスト」で総合一位から三位まで独占しました。その他パソコン甲子園、吹奏楽、演劇等多くの生徒が発表会や大会・競技会に向けた練習に勤しんで確実に成果を

上げておりまして「文武両道」の精神を遺憾なく発揮しているところであります。ところで何と云っても今年度のトピック的なものは、先端的な技術や技能を取り入れた学習活動を行う実業高校を支援する文部科学省の事業「目指せスペシャリスト」に全国五校の中の一校として、県内では初めてスーパー専門高校に選ばれたことでもあります。セラミック科を中心として、国宝である幻の陶器「曜変天目茶碗」の再現を通して、今年度から三年間研究実施することになり、現在人材育成に全校挙げて取り組んでいる最中であります。

以上会津工業高校の現状の一部を紹介致しましたが、その他にも着実に実績を積み重ねており、百周年を節目に年々飛躍し続けていると断言できます。これからも諸先輩の築かれた歴史と伝統を守り、百年を超えた工業高校に相応しい新たな伝統を築き上げる為、ものを考え、ものを判断でき、ものの作れる技術教育と生徒の育成を図っていききたいと思っております。

ようやく会津も暖かい春を迎え、昨年東京会工会が校地内に植樹された桜の木もすっかり芽吹き始めた事をご報告すると共に、今後も各位の母校への温かいご指導、ご支援、ご協力をお願いと貴会の益々のご発展を祈念致します。



▶『松江賞』授賞式

大漁だよ！ 湘南海岸地引き網！！

齋藤 博正 (37年K卒)

五月二十一日(土)、東京会工会では二年前ぶりに三浦海岸に次いで、湘南・茅ヶ崎海岸にて『地引き網』を開催いたしました。

当日は、晴天に恵まれ、湘南の海は穏やかで絶好の地引き網日和の中、会員及び会員関係者そして東陶機器協会会員やその友人・知人の総勢八十四名の方々に参加を頂きました。

十時頃より約二時間前に七〇〇メートル沖合いに敷かれた網を一齐に引き上げにかかりました。動力で引いてくれるのできつい労力ではありませんが、みなさんで「ヨイショ、ヨイショ」と声を掛け合い網を浜辺に引き上げることができました。網の中には、湘南名物のシラス・サバ・アジ・コハダなどがぎっしり入っていて大漁でした。額に汗した後、いよいよ会食となり、テントの中で捕れたシラスは、生シラスと天ぷらに、アジ・サバなどは、サシミと焼き魚にと、お酒・ジュースを酌み交わしながら捕れたての魚の味を十分に味わいました。初めての湘南・茅ヶ崎海岸での地引き網になりましたが、地引き網の醍醐味を満喫し会員相互の親睦をおおいに図ることができました。

参加者からも「是非来年もやろうー」との声があり、年間行事予定に組み込んでおります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



梨狩りに参加して



顧問  
中田 宏司氏  
(17年M卒)

東京会工会の活発な年間行事があらわらちらで開催されているが、なかなか参加することも出来ずにいたが、私の住む船橋市の北端である法典地区は今年梨狩りが行われる鎌ヶ谷市とは隣り合わせで、然も梨の生産地でもあります。平成十七年九月三日、梨狩りの案内があったので、今度こそはと、東武電車を一駅のみ目指す鎌ヶ谷駅で降り、知っているつもりで歩きだしたが、行けども行けども場所が見つからず聞く家も無く、ケイタイも持たずに途方に暮れていると、逆の方向から来た宅配便の車に出会う事が出来、場所がわかり、駅を降りてから約一時間半のち大山園に到着し、荒井会長のあたたかかい出迎えをうけ、皆さんにも紹介され私は昭和十七年三月の卒業生ですと云ったとたん「俺生まれていないや」なんて声も聞かれ、えっと思ひ、考えてみると卒業してから六十三年もの年月がたっていることに気付き、つくづくと老いを感じたものでした。



さんの車で私の自宅前まで送り届けて貰い大助かりしました。皆様に厚く御礼を申し上げます。

芋煮会

宮下 久氏  
(35年K卒)

多摩川辺りの芋煮会に、初めて参加しました。小雨降る日でしたが、時折、晴れ間も見られました。芋煮と郷土料理や会津の銘酒と、会津弁が何か懐かしい思いでした。ゲームも行われて、掛け声や拍手で賑やかな和気藹々の中、楽しい一日でした。行事に参加する機会となったのは、平成十三年東京会工会からの入会のお勧めのおかげです。多くの方々にご歓談させて頂きました。話の中で、近畿会工会に、分校の出身の方もおられるなど伺い知る事が出来ました。また本郷町ご出身の方がお話しされて、分



校の事も教えて頂き、当時を思い起こしました。関東在住の同じ分校卒の方、どうか行事の参加に一考されては如何でしょうか。最後に伝統ある行事に参加できました事は、会長はじめ、役員の方々のお誘いによるものです。厚くお礼申し上げます。



### 第十六回 東関東ゴルフ大会

成田 正明  
(33年K卒)



第十六回ゴルフコンペで祈願の優勝が出来ました事は、大変うれしく思います。パートナーの皆さん、そして企画された関係者のご苦勞そして応援して頂いた皆さん有難うご座居ました。厚く御礼申し上げます。

スコア的には大叩きが2ホール有ったのでとても優勝なんて考える余地も無かったのですが結果的にはハンデキャップにも恵まれて栄冠を勝ち取れた事に喜びを感じています。

今後も年齢の増すことに負けずに体力を付けて練習に励んで楽しいゴルフをする為の努力を重ねて、健康な身体づくりをしなから次回のコンペに参加したいと思つて居ますのでその節は、皆様と楽しいゴルフを歓談の中でプレーできる事を楽しみにしています。



### 第三回 西関東ゴルフ大会

伊藤 孝行  
(38年M卒)



今回の大会(平成十七年十一月十一日)は、第一回と同じ『大厚木カントリー倶楽部』で開催されました。快晴とはいきませんでした。ゴルフ日和という環境で、自分の実力を出し切つて頑張つた結果、優勝することができました。

西関東大会のメイン幹事33K五十嵐清夫氏の音頭で、今年は十一月十日(金)『御殿場ゴルフ倶楽部』で開催の予定です。東関東ゴルフコンペと比較すると規模が半分程度でもっと盛り上げたいと思つている次第です。多くの方が参加され、より大きな大会になるよう期待しております。

話は変わりますが、第十七回東関東ゴルフコンペから幹事をおおせつかりました。前年と同じ『栃木が丘ゴルフ倶楽部』で九月十三日(水)に開催を予定しております。東関東、西関東どちらも奮つて参加いただきますようお願い致します。



# 平成17年度東京会工会総会出席者

日時：平成17年6月25日(土) 場所：上野精養軒

(敬称略)

- 〔御来賓〕 会津工業高校校長 熊田 良治 郡山会工会副会長 安田 久夫(18M)  
 同窓会会長 梅津 正男(32T) 東海会工会会計幹事 笠間 忠英(35A)  
 同窓会幹事長 若狭 春生(38K) 近畿会工会会長 渡部 藤雄(31E)  
 同窓会事務局 梨子本 傑(41K)

## 〔会 員〕

- |            |           |           |            |           |
|------------|-----------|-----------|------------|-----------|
| T16 押山登喜男  | K32 岸 宗男  | C25 赤津 仲雄 | M46 水上 強   | A28 渡部 保男 |
| 24 五十嵐 栄   | 33 五十嵐清夫  | 29 岡島 文弘  |            | 29 杉本 次雄  |
| 24 室井 忠六   | 33 大竹 國正  | 30 小町谷昌宏  | E 26 遠藤 文夫 | 31 大矢 隆   |
| 25 板橋 桂    | 33 加藤 修次  | 33 金川 和也  | 26 管家 忠平   | 31 中丸 正弘  |
| 27 村岡 司國   | 33 出羽 重夫  | 35 秋山 尚   | 27 板橋 亨    | 32 金子 昌輝  |
| 29 室井 耕平   | 33 玉川 進   | 37 佐藤 武   | 27 佐藤 達也   | 32 木村 幸弘  |
| 34 石綿 弘    | 34 荒井 士郎  |           | 27 新藤 健    | 32 宮森 健介  |
| 34 小池 清    | 34 小林 智   | M23 諸橋 栄輔 | 29 坂内 寿    | 33 澤里 勝人  |
| 34 佐々木 象昭  | 34 櫻井 靖久  | 24 児島 正俊  | 31 小桧山 忠   | 35 五十嵐昭夫  |
| 34 鈴木 哲夫   | 34 辺見 輝夫  | 26 木村 孝   | 31 鈴木 忠恵   |           |
|            | 34 堀田 耕   | 26 三瓶 實   | 31 金作 等    | 出席者 91名   |
| L 20 大川原 薫 | 36 渡辺 満   | 27 橋本 修   | 32 岡村 進    | (来賓7名含む)  |
| 21 鶴川平四郎   | 37 斉藤 博正  | 27 舟田 昭夫  | 32 小桧山 昇   |           |
| 33 渡部 弘    | 44 高木 博康  | 38 秋山 潔   | 33 五十嵐邦雄   |           |
| 34 阿部 敏広   | 47 武藤 政明  | 38 伊藤 孝行  | 37 阿部 龍吉   |           |
| 35 芳賀 勝義   |           | 38 佐藤 利秋  | 37 星 実     |           |
| 39 佐藤 功    | C17 渡部幸四郎 | 39 古見 四友  | 38 梨子本 紘   |           |
|            | 20 木下 繁利  | 40 杉原 努   | 40 星 陽一    |           |
| K20 青柳 啓治  | 23 秋山 勇   | 40 鈴木 邦男  | 42 田中 健一   |           |
| 20 柴山 景介   | 25 加藤 昭八  | 40 戸野部武彦  | 43 内川 義則   |           |

## 平成17年度決算書(中間報告)

(自平成17年4月1日～至平成18年3月31日)

(単位：円)

	平成17年度予算案	平成17年度決算	比較増減	備 考
前期繰越金	A 671,956	671,956		
<b>収 入 の 部</b>				
総 会 費	810,000	756,000		84名
年 会 費	500,000	609,000		303名
芋 煮 会 費	300,000	224,000		56名
役員会合同新年会費	240,000	200,000		25名
同窓会助成金	100,000	100,000		
ゴルフ大会費	350,000	350,000		28名
梨 狩 り 会 費	100,000	103,000		37名
三浦海岸地引網会費	150,000	189,500		84名
雑収入(寄付等)	300,000	649,018		桜基金、タオル他
小 計	B 2,850,000	3,180,518		
合 計	A+B 3,521,956	3,852,474		

<b>支 出 の 部</b>				
総 会 費	800,000	820,221		84名
芋 煮 会 費	300,000	169,250		54名
役員会合同新年会費	240,000	180,000		25名
通信・印刷費	130,000	235,230		会報・案内状等の発送代
事務用品費	10,000	10,000		
地方同窓会参加費	120,000	134,720		
役員会会議室費	70,000	79,650		
『会工会』だより発行	150,000	205,590		1100部
事務局費	50,000	50,000		
ゴルフ大会費	350,000	350,000		28名
西浜海岸地引網費	150,000	200,045		84名
梨 狩 り 会 費	100,000	91,940		37名
植 樹 費	120,000	67,951		
記念タオル費	72,000	141,750		
雑	150,000	70,780		
支 出 合 計	2,812,000	2,807,127		
翌 期 繰 越	709,956	1,045,347		

## 編集後記

『日経新聞プラス1(三月四日付)』の一面  
 『何でもランキング』に我らの会津鶴ヶ城が、  
 『桜が似合うおすすめの城』で、堂々の第四  
 位に選ばれました。『地元のシンボルの存

在で優美な城が桜の上に浮かんだように見  
 える『周辺に点在する桜の古木の桜の名所  
 会津五桜と合わせて見るのも良い』という  
 高評価でした。将来は、東京会工会植樹の  
 『会工桜』が、会津鶴ヶ城、会津五桜と共に、  
 桜の名所の仲間入りすることでしょう。  
 今後とも桜基金にご協力下さいます様、  
 よろしくお願い致します。